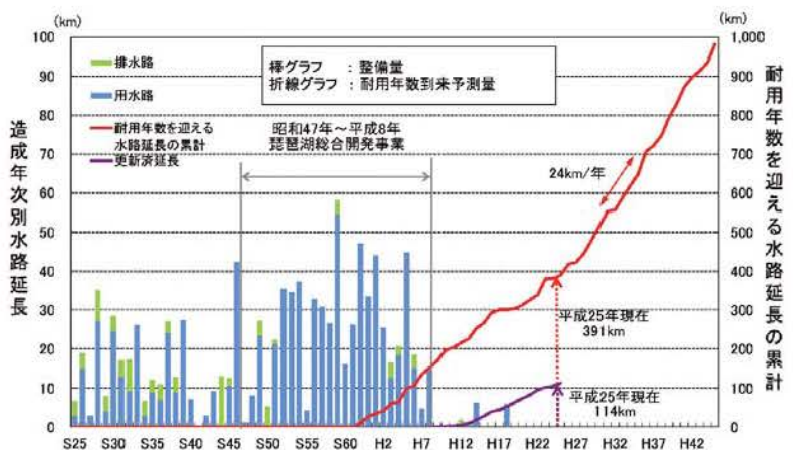


農業水利施設のアセットマネジメントの推進

効率的・計画的な保全更新対策の推進

I. 現状と課題

- ◆滋賀県の農村地域には、基幹水利施設として農業用ダムや揚排水機場などが125箇所、農業用の用排水路にあっては、基幹から末端まで総延長で約13,000kmにもおよぶ膨大な水路が張りめぐらされていますが、施設の多くは、整備後30年以上が経過するなど、年々老朽化が進行しています。
- ◆また、農業者の減少・高齢化、農村の混住化が進行し、土地改良区や農業者の共同作業が支えてきた水利施設などの維持管理体制がぜい弱化しています。
- ◆こうしたことから、農業水利施設の適切な保全と計画的な更新を行い、あわせて地域ぐるみの協働活動を推進することにより、滋賀県の農業生産に不可欠な社会資本である農業水利施設を保全する必要があります。



幹線的な水路の整備延長と標準的な耐用年数が到来する延長の推移（県全域）



種別	用水路		排水路
	開水路	管水路	
基幹水路※1	309km	620km	95km
末端水路	4,460km	1,680km	5,810km
計	約13,000km		
基幹水利施設	約125ヶ所 (ダム、頭首工、用排水機場など)※2		

※1：国営および県営造成施設で受益面積100ha以上の水路（ただし県管かんがい排水事業で造成された施設は、20ha以上）

※2：受益面積が100ha以上の施設

II. 突発的な漏水事故等の発生

- ◆近年、施設の老朽化に伴う揚水機の緊急停止や漏水事故などの突発的な事故が多発しています。
- ◆特に、滋賀県では、琵琶湖からポンプで揚水する施設（琵琶湖逆水施設）が多く、漏水事故などが発生すれば、農業生産だけでなく、地域の住民生活にも影響を及ぼすことが懸念されます。
- ◆このため、こうした重大事故の発生を回避するとともに、事故発生時の被害軽減と迅速な対応に向けたリスク管理の取組が求められています。



揚水機（高圧電動機）の焼損による緊急停止事故



圧送管破損事故による被害状況

Ⅲ. 農業水利施設のアセットマネジメントの推進

- ◆基幹から末端に至る農業水利施設全体を一つの資産としてとらえ、全ての関係者が目的や情報を共有し、適切な保全管理により、長持ちさせながら効率的かつ計画的な保全・更新を行う「農業水利施設アセットマネジメント」を推進し、農業水利施設を健全な姿で次世代に引き継ぎます。
- ◆また、「みずすまし構想」に基づき、保全更新の際に節水型や循環型の施設へ改良するなど、琵琶湖などの環境に配慮した取組を進めます。

農業水利施設のアセットマネジメントへの取組

「リスク管理※¹を行いつつ、施設のライフサイクルコスト※²を低減し、施設機能の監視・診断、保全、更新などを機動的かつ確実に行う新しい戦略的な保全管理を推進」

県、市町、土地改良区、農業者、地域住民が情報を共有し、それぞれの役割分担のもと緊密に連携しながら、次の3つを基本方針とした滋賀県独自のアセットマネジメントを推進します。

- 推進方針①** アセットマネジメント手法により効率的で計画的な保全・更新対策を推進します。
- 推進方針②** 琵琶湖などの環境保全に配慮した節水型・循環型の対策や生物多様性などに配慮した対策を推進します。
- 推進方針③** 施設の多面的機能が一層発揮できるよう、施設管理の体制整備や地域ぐるみの保全活動を推進します。

- ◆施設の健全度や重要度を考慮した効果的な点検・調査を実施
- ◆施設の機能を保全するための適切な監視・維持補修などの日常管理の実施
- ◆調査・診断結果から事前に劣化を予測し、施設が機能不全に陥る前に、計画的に予防的な補修・補強を実施
- ◆琵琶湖などの環境保全に貢献しつつ、持続的な施設の機能保全と多面的機能の発揮に向けた取組の実施



技術検討会による計画検討



開水路の長寿命化対策工事



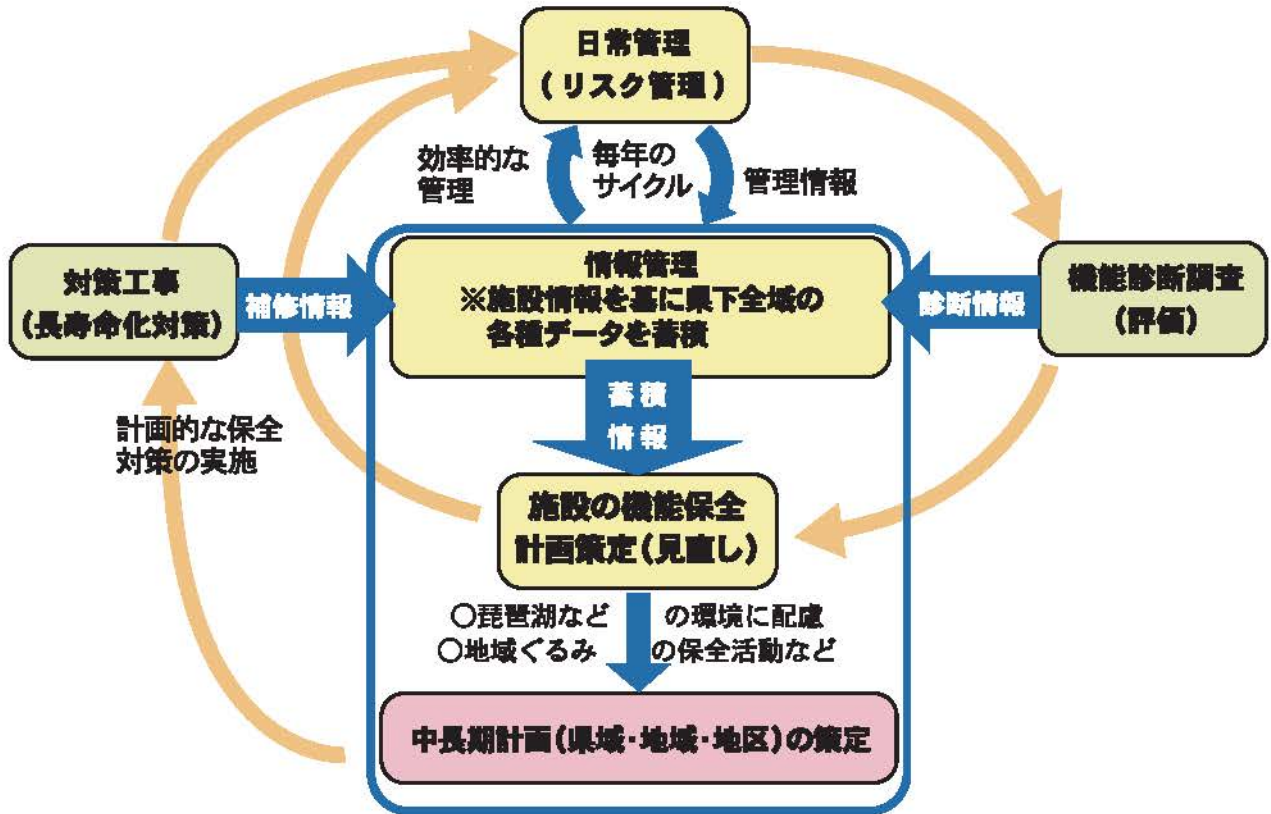
地域ぐるみの保全活動

※1 リスク管理…さまざまなリスクを、最小限に抑えようとする管理手法。

※2 ライフサイクルコスト…施設や構造物などの調達から、使用、修繕、廃棄処分までの全過程に要する費用。

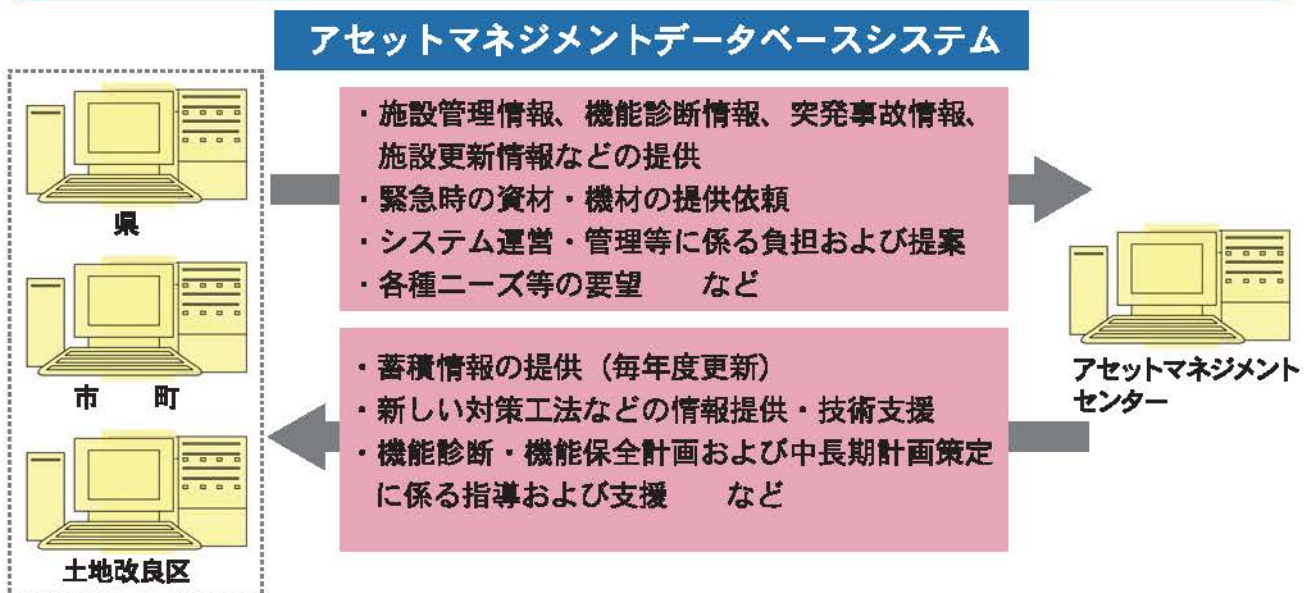
IV. アセットマネジメントの取組

- 施設管理者による適切な日常管理を基本に、継続的なデータの積み重ねと、施設の健全度や重要度を考慮した効果的な日常点検と機能診断、計画的な予防保全に取り組み、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を目指します。



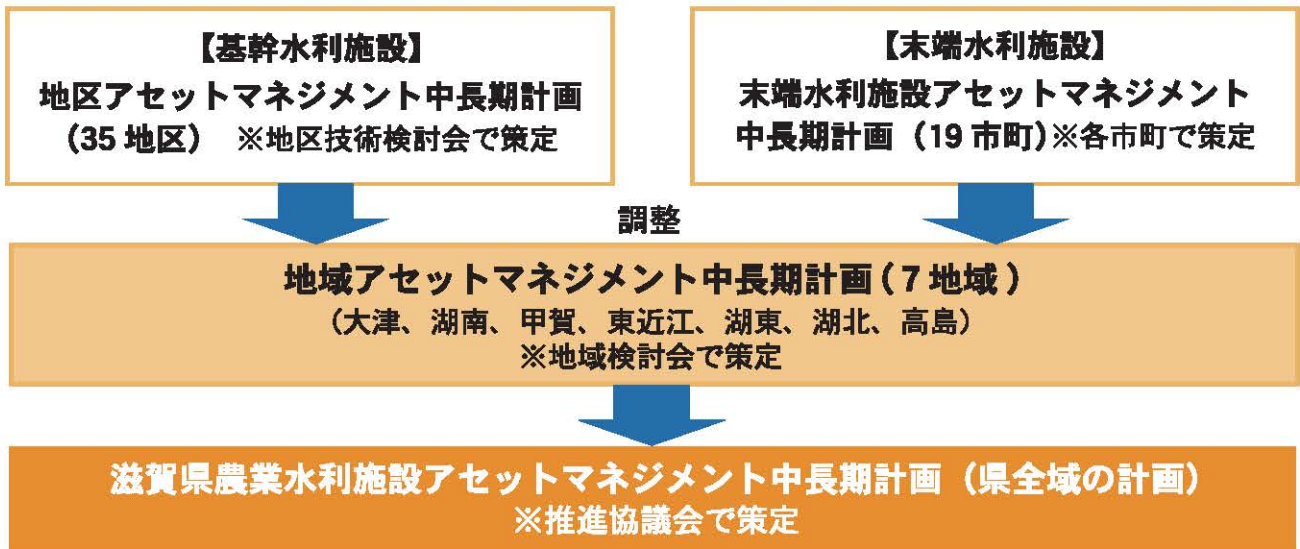
V. アセットマネジメントデータベース

- データベースシステムを活用し、各種データを蓄積します。
- 情報を共有することで、関係者間の共通理解と協働によりアセットマネジメントを推進します。



VI. 中長期計画

- 各施設の健全度や重要度に着目したリスク管理を行いつつ、施設のライフサイクルコストを低減し、施設機能の監視・診断・補修・更新を機動的かつ効率的に行う「新しい戦略的な保全管理対策」を目指す今後10年間の実施計画として策定。
- 中長期計画の実現に向け、関係者が協働でアセットマネジメントに取り組みます。



VII. 推進体制

- ◆「滋賀県農業水利施設アセットマネジメント推進協議会」(平成23年6月設立)を核として、アセットマネジメントを推進します。

